ゆめプラの仲間より

ゆめたろうプラザを拠点に活動している仲間たちから「ゆめたろうプラザと私たち」というテーマでメッセージをいただきました

ゆめプラとの出会いはかけがえのない財産

武豊町民劇団 TAKE TO YOU　代表　中山真人



武豊町民劇団 TAKE TO YOU 2024 年度定期公演「妖怪サミット」

ゆめたろうプラザと私といえばやっぱり武豊町民劇団TAKE TO YOU（以下TTY）。毎週ゆめたろうプラザを訪れ、劇団の仲間達と公演に向けて稽古に励んでいます。

中学時代に学校で「なんかとなりで工事してるなー」っと思ってた場所にまさかこんなに通うことになるとは。

入団する前に観たTTYの劇は屋内のホールではなく、屋外の水を張ったところに特設舞台を作り劇をやっていた。

当時はその大変さが分からなかったが、代表となった今ではその大変さがよく分かります。

劇団での活動の中で苦楽をともにする仲間と出会えたことや地域との繋がりを感じられることは私にとってかけがえのない財産です。

これからも枠にとらわれないジャンルを超えたハーモニーを奏でられる拠点として、文化芸術を発信していただくことを願っております。

未来へ奏でる、町民会館のメロディ

Swing Band TAKETOYO　バンドマスター　樫原明子



第 34 回スウィングバンドタケトヨ BIGBAND JAZZ コンサート「LOVE」

多目的ホールしかなかった武豊町に、建設準備から町民の意見が採用され、町民にとって必要な会館ができました。

私はジャズバンドの育成事業であるSBTに参加し活動しています。唯一無二の仲間と練習して、コンサートでは、響きの良いホールで演奏できます。地域の人々の温かい拍手や笑顔に触れ、会館が提供してくれた音楽活動はかけがえのないものとなっています。

そして、SBTを支えてくださる裏方の大切さを知りフロントスタッフのボランティアへの参加もすることにしました。町民の皆さんが楽しそうに利用されて、ボランティアの私たちにも「ありがとう」と声をかけてくださいます。「いい会館だね」と言われた時は嬉しく思いました。

会館はただの建物ではなく、多様な人々が集い、学び、交流し、新たな文化が生まれるところです。そこに関わっているすべての人々に感謝します。自慢できる町民会館がずっと存在している武豊町であって欲しいのと、次の世代にもこの場所の大切さを伝えていけたらと思います。

夢はここにある 〜 本物の舞台を、町の子どもたちへ

舞台芸術企画ゆめっぴ 代表　古賀真有



ゆめっぴ企画 第 19 弾
「ふわふわサーカス『ユニコーンくんと夢の世界の大冒険』」

武豊町に、立派なゆめたろうプラザという町民が集まれる施設ができ、その施設で、「遠くに行かなくても観られる、本物の舞台を子ども達に」を合言葉に、第1回公演より、ゆめたろうプラザと一緒に歩んだ、ボランティア団体、舞台芸術企画ゆめっぴも来年で20周年となります。

企画立案から、チラシ作成や配布、準備、開催と、やる事が目白押しの中、町職員の方や、NPOたけとよの皆さんに、本当にたくさん助けていただき、今までやってくることができました。

会員数が少なく、大変な事も多いですが、公演時のあの笑顔、驚きの表情、そして笑い声や感動の涙。それらを見ると、報われた思いでいっぱいになります。

私達は、これからも、最高のひとときを皆様に。ゆめたろうプラザとともに。

専門性を故郷に、未来へ応援を

武豊春の音楽祭2025 実行委員長　永井秀司



武豊春の音楽祭 2025『響け！「歓喜の歌」』

初めてゆめプラと関わらせていただいたのは、2008年度の音楽祭の「第九」でテノールの合唱指導に入らせてもらったときだったと思います。もう18年も前なのですね。その際勿論NPOたけとよの方々にもお世話になりました。

生まれた土地に自分の専門性を提供でき、貢献できることは誰にとっても喜びだと思います。あの当時の自分が音楽祭に育てていただいたように、今後は次世代の人材の活躍を応援しつつ、NPOたけとよの益々のご発展をお祈り申し上げます。

情熱から楽しさへ 〜 継続の力

モーニングコンサート実行委員会 監事　梅原泰世



ゆめプラモーニングコンサート

私の“ゆめたろうプラザ”とのかかわりは、「子育てネットワーカー」と言う立場で町民会館建設の準備段階での意見交換会や施設見学や学習会などに参加させていただいたことからスタートしました。

そして、創設時の「ＮＰＯたけとよ」に数年在籍し、現在は「モーニングコンサート実行委員」として活動しています。

周りの皆さんと比べると貢献度の少ない私なので、この20年余の活動を考えると、関係者の皆さんに対して感心というより感動に近い思いがあります。

実に驚きの実績なのですが、日々それを継続して実行している方々はいつも前向きで、本当に楽しそうに計画を話し合っています。

創設時には「ことを成し遂げる」にはやはり燃える情熱が必要なのかなと感じていましたが、事業を継続して行くには「楽しんで正解を探す」人がたくさんいることが成功の秘訣ではと考えるようになりました。

そんな素敵な人たちに出会えたことが私の幸せです。

ゆめたろうプラザに広がる感動と感謝

ゆめプラメイト 会長　中道ひかり



ゆめプラメイト総会「お楽しみ抽選会」

思えば、町民会館の計画段階から、武豊町役場の方々が私達の意見を聞いてくださり、町民会館を良いものにしようと努力してくださったことが、今のゆめたろうプラザにつながっています。

ゆめたろうプラザを町民の方々に喜んで利用していただける場所にしようと立ち上がったのが「NPOたけとよ」でしたね。

毎年限られた予算を最大限活用して、コンサートや演劇、講演会等を催してくださり、本当にありがたいといつも感謝しています。

NPOさんのおかげで毎年よいコンサートを聴くことができます。サロンコンサートには本当に素晴らしい演奏家が来てくださり、私達はリーズナブルな料金で素晴らしいコンサートが聴けます。

みなさんも名古屋まで行かなくても武豊でゆめたろうプラザで感動しましょう。ゆめプラメイトを利用してチケットを購入すれば、先行発売でさらにお安く買えます！利用しましょう！

NPOたけとよのみなさん、ありがとう！これからもよろしくお願いします。

ゆめプラの仲間より

ゆめたろうプラザを拠点に活動している仲間たちから「ゆめたろうプラザと私たち」というテーマでメッセージをいただきました

ゆめプラが育む人生の彩り

武豊町文化協会 会長　小藤省吾



武豊町文化協会芸能祭「総踊り」

私とゆめたろうプラザとの関わりは、ゆめプラのオープンとともに始まった武豊春の音楽祭です。

第1回のタイトルは「武豊春の国際音楽祭」、楽器も弾けない、楽譜も読めない私がなぜ音楽祭の実行委員になったか、それも途中から。その理由はお世話になっている方が実行委員長で「断れなかったから」。

それを機にゆめプラで開催される各種コンサートや企画に足を運ぶようになり多くの感動や体験、発見をいただきました。文化、芸術に触れることは人生をとても豊かにしますね。今では町外で開催される絵画展やコンサートにもせっせと足を運ぶ私です。

武豊町の芸術、文化の発信基地、拠点としてこれからも素敵な企画で皆さんを楽しませてください。文化協会も会員一同、力を合わせて盛り上げていきます。期待しています。

裏方の努力が支える本物の体験

フロントスタッフ　金光徳子



コンサート開場中の様子

名古屋へコンサート、演劇に行くことは多く、そこで受付や会場案内をされる笑顔のスタッフがとても素敵で、こんな仕事が出来るといいな！といつも思っていました。

ゆめプラでのフロントスタッフの養成講座の案内に、時間を作ってでも参加したいと思いました。

講習は、お客様への思い、会館の思い、スタッフのふるまいなど、自身の勉強にもなり、ボランティアの意味を学ぶ機会にもなりました。ボランティアの協力が大きな力になることはとても嬉しいことです。今の自分の生き方にも繋がっているように思います。

また、ゆめプラで行われた「武豊線物語『あこだん』」。その題材になった台風の日の出来事を、家まで来て母に取材してくださった高橋さん。90才の母は娘時代の記憶を呼び起こし溢れんばかりに話し出しました。その内容をまとめて紙面にして、武豊線のお話の中で取り上げてくださいました。ひとつの企画を造るために、よいものにするために、裏方の地味な努力は凄いな！と思うばかりでした。

ゆめたろうプラザがずっと地域に根付き、高いレベルで、本物を経験出来る場であり続けてほしいと願っています。

文化を届ける、ゆめプラス隊員の喜び

ゆめプラス　大久保るみ



ゆめプラスお楽しみ会では舞台の裏話を聞くことも…

ゆめたろうプラザは昨年20周年。言うまでもなく、武豊の文化、芸術、生涯学習を支える文化活動の拠点です。

いつもすばらしい演奏家の皆さんを探し、極上の内容のコンサート等を低価格で企画してくださるスタッフの皆様方には、心から感謝しております。

個人的にはモーニングコンサートやチケットセット販売等も面白い企画だと思っています。

それで、少しでもお役に立てばと思い、ゆめプラス隊員として近隣の人や友人にイベント情報を配布しています。それを見て今では「チケットを購入したよ」とか「配布を楽しみにしているよ」という言葉がけもいただきます。

迷われる方は、担当者のオススメコメントを参考にしてください。微力ながら、ゆめプラス隊員を続け、お手伝いしたいと思っています。

ゆめたろうでボケ防止

情報スタッフ　榊原芳宏



様々なイベントで記録撮影をします

「イベントの写真を撮るスタッフになりませんか？」って声掛けいただいたのは何時だったっけ？

映像編集の講座で初めてゆめたろうプラザに足を踏み入れて何年?

小学校時代の修学旅行の写真から始まって、家族ができて旅行や運動会でのスナップやらビデオやら、お父さんはけっこう忙しかった…。でも親離れが進んで、暇・ひま・ヒマ…何しよう？

「イベントの写真を撮るスタッフになりませんか？」

「やります！！！！」

でも俺でいいの？ほぼ写真の知識はありません、ただスナップ程度なら…。それから猛勉強(？)したかなあ～？

ゆめプラだよりの表紙　アレ？オレの撮ったコンサート写真！イイノ？オレので

それからは、ボケてる暇ありません。スタッフさんたちテキパキ！見てる俺も元気！(カナ？)　アレ？　ボケは写真だけでいいかな？

これから10年20年もっとMOTTOゆめたろうプラザが武豊町を元気にしてくれることを陰ながら願っています。

フロントスタッフ
フロントスタッフは会館主催のコンサートでお客様をお出迎えするボランティアスタッフです。

ダ・ヴィンチスタッフ
ダ・ヴィンチスタッフは、主に「芸術と科学のハーモニー事業」で行われる講座のお手伝いをするボランティアスタッフです。ダ・ヴィンチスタッフという名称はレオナルド・ダ・ヴィンチに由来しています。

情報スタッフ
情報スタッフはコンサートや講座の記録撮影を行います。
※フロント、ダ・ヴィンチ、情報スタッフの主管は武豊町民会館

ゆめプラス
ゆめたろうプラザ主催事業のちらしを手から手へ身近な方に届けるお手伝いをするボランティアです。
※主管は NPO たけとよ

ゆめプラが広げてくれた私の世界

ダ・ヴィンチスタッフ　和田いり江



ゆめプラ人気講座「レゴロボット製作教室」での様子

ゆめたろうプラザとの付き合いはダ・ヴィンチスタッフとして濃ぃ～いものになったのは確かです。スタッフになる前の自分は子供達に工作等を教える事より我が身が楽しむことが一番で～今でもそれは変わってないのですが…。

ゆめプラで出会った友人や経験は私の世界を一段と広げてくれ、生き甲斐を与えてくれています。そんな有り難い存在なんです…私にとってのゆめたろうプラザは！



開館当初から続く「モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会『大空杯』」の様子



プロの映像作家に学ぶ「アニメーション制作講座」の様子



「見る」を追及する「石膏デッサン体験教室」の様子

ゆめたろうプラザ開館 20 周年記念メッセージツリー
「二十歳のゆめプラへ」に集まったコメント

※スペースの都合上、一部お祝いの言葉を割愛させていただいています。

▶この会館ができると知った時とても期待しましたが、期待通りというかそれ以上でした。本当に20年間よく利用させていただき楽しみました。すばらしい演奏家の皆様をこの価格で呼んで下さるなんて本当にありがたい。スタッフの皆様の努力、尽力に心から感謝いたします。これからもよろしくお願い致します。

▶芸能人のコンサート、劇団や松竹のお芝居、講演会等、名古屋や東京まで行かずに楽しむことができました。文化祭で作品を出品したり、ステージに立ったり、お茶会に参加したり、数えきれないくらいたくさんの楽しい思い出があります。携わってくださったすべての方々に感謝します。ありがとうございました。

▶お陰様で沢山の素晴らしいアーティストの方々に出会え、ステキな時を過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。ゆめたろうプラザは皆の心のテーマパークのような存在だと思っています。これからも益々、皆のパラダイスとなっていただきたく願っています。

▶ゆめプラ構想に向けて話し合ってた当時の生き生きしたみなさんの姿を鮮明に覚えています。(残念ながら仕事で参加出来ていませんが…) それから20年 !!
“文化” “芸術” の花を咲かせ続けていただきありがとうございます。これからも応援しています !!

▶その 20 年の内で私が関わらせて頂いた公演やアウトリーチやワークショップはどれも全て私の仕事の中で特別な記憶になっています。これからもクレイジーなマンパワーにガジガジとオモシロというガソリンを注いでいけるように頑張りますので、末永くよろしくお願い致します !



館内に設置されたメッセージツリー

▶初めて輝きホールに立たせていただいた時の震えるほどの感動は忘れません。会館の方々、スタッフの方々、皆舞台を良くするために同じ方向を向いてくださっていて。それは今も変わりません。感謝でいっぱいです。ありがとうございます。

▶数年前に亡くなった伯父のハーモニカ演奏会が今も心に残っています。発表会に母と共に何度か足を運び、いつもは真面目で物静かな伯父がとても輝いて見えたステージを懐かしく思います。これからもすてきなハーモニーが続きますように。

▶武豊の文化の発信地のゆめプラ20年間に数えきれない演奏会、講演会で感動や出会いがつまっています。変わらずこれからもずっと歩み続けていってほしいと願っています。



2023年度サイエンストーク「だしの科学」(オリジナルカップ麺を作ろう)

▶私は 8 年後に成人式を迎えます。5 年生の時にここでオリジナルカップ麺を作りました。これからもがんばれ ! ゆめプラ !

▶毎回、夢のある素敵なコンサートをお値打ちに鑑賞させて頂き感謝しています。今後も心に響くコンサートをよろしくお願いします。

▶退職後に自宅から近いゆめたろうプラザで様々な分野の企画を楽しめて感謝一杯です。低料金、駐車場も広く無料そしてスタッフの皆さまの笑顔にいつも癒されています。

▶「ゆめたろうプラザ」なんてステキな響きの会館名でしょう !! これからも行きたくなる会館でいてください ! 応援しています。

▶ゆめプラのコリドールに飾られた数々の歴史の記録をうっとりと眺め、感慨無量です。退職後の 20 年、私の人生を豊かにしてもらいました。それは武豊町の文化も豊かにしているということです。この素晴らしい活動が受け継がれていきますように願ってます。

▶この間、町民によるミュージカル、モーニングコンサート、音楽 (プロによる)、鑑賞、歌手によるコンサート等、たくさん楽しませて頂きました。これからもここに通いたいと思います。

▶建物も人もゆめプラはすばらしいと思います。ここでたくさんのすてきな体験を子どもにさせてあげたいです。そしてゆめプラ大好きっ子にします !!

▶私の人生を変えてくれたゆめプラ。いつも本当にありがとうございます。まだまだ通い続け、楽しい事たくさんやりたいと思いますのでこれからもよろしくお願いします。

▶息子がゆめたろうプラザで成人式をしてから 20 年 ! 40 才になる息子にも子供が 3 人できました。幸せなおばあちゃんです。

▶ゆめプラメイトになって 1 年。楽しい時間をたくさん頂きました。これからもステキな人達に出会える場所でいて下さい。

▶子どもたちのピアノの発表会やイベント、和室を貸し切ってクリスマス会…たくさんの思い出ができました !! 20th おめでとう & ありがとう。

▶素晴らしいひと時、本当に感謝の気持ちで一杯です。これからもどうぞよろしくお願い致します。

ちょっと脱線、ゆめプラ四方山話

NPO たけとよ発足から 21 年。ひとことでは語れないアンナコトやコンナコト。
印象に残っているエピソードをご紹介いたします。



子ども達も楽しそう !



人気の音楽 teacher

ゆめホタル ® フィジーに行く

事の始まりは愛知万博。武豊町のフレンドシップ国のフィジーで、「澄んだ海岸に武豊町オリジナルイルミネーション『ゆめホタル®』を灯したい」という一言から、南太平洋大学の学生やナマタクラ村小学校の子どもたちとのワークショップが実現。薄暗い教室なのに目を輝かせて製作する姿に驚き、武豊から持ち込んだキーボードに合わせて自然にハモる姿とリズム感に、スタッフは感動した。その夜、一緒に作ったゆめホタル® が海岸に灯り、風に揺れた。翌日「音楽 teacher は残れ」とせがまれ、アートや文化が心をつなぐ力を実感した。



たくさんのポスターでいっぱい

マニア垂涎モノの宝箱

「小惑星探査機はやぶさ帰還カプセル展示」に合わせ、NPO たけとよとダ・ヴィンチスタッフが中心となり製作した「はやぶさ実物大模型」は、JAXA が設計図流出を心配するほどの完成度だった。全国の展示施設からの依頼で巡回すると、外箱にはイベントポスターやプレミアムシール、さらには飛不動尊や中和神社のお守りまで貼られ、マニア垂涎の装飾が日に日に増えていった。巡回を終え日本宇宙フォーラムに収められた際に贈られた銀メダルは、今も響きホールのホワイエに飾られている。

プロは 1 ミリも妥協しない

二年越しで招いた大人気の現代アーティスト、クワクボリョウタさんのために、情報考房の中に白壁の部屋を作った。その完成度に彼は「おー、今までで一番いい環境です !」と喜んでくれた。しかし暗くすると、天井や壁の隙間からほんの少しの光が漏れている…。指摘を受けてスタッフは半日かけて黙々と詰め物をした。作家は「この 1 ミリが気になる。ここの傾きがまずいな」と言いながら制作を続けた。四国から来た美術館学芸員も「スゴイ部屋を作りましたね」と感心し、スタッフの顔には誇らしい笑みが浮かんだ。

デンゲキビリビリでみんながひとつになった !

2010年4月、子ども達のアンケートで「呼んでほしい人」人気ナンバーワンだったでんじろう先生のサイエンスショーが実現。チケットは即完売、当日は欠席者ゼロという記録的な盛況ぶり。特に印象的だったのは「人間電線」の実験。666人の観客が順番に手をつないでいく。「絶対に離してはダメですよ」との先生の声に緊張が走り、「3・2・1 ! 」のカウントダウン後、「わっ ! 」「すげー ! 」と驚きの声が次々に響く。何が起きたのか舞台袖にいた公演担当者には謎のままだったが、その熱気と興奮は会場全体をひとつにしていた。

海賊 ーバイキングー ☠

ノルウェーから海の男たち「ストーム・ウェザー・シャンティ・クワイヤ」が響きホールに登場。会場は飲み物やつまみ持ち込み OK のライブハウスに大変身。ステージに旗を飾ろうとすると「ワスレタヨ」との返事。なんとノルウェーに忘れてきたとのこと… ☠ そこで舞台スタッフが急遽スクリーン用の白布を吊るし、旗の画像を投影すると、ステージ正面に巨大な海賊旗が出現 ! 言葉の壁を越えたバイキングたちの熱いサウンドに、客席はオールスタンディング。まさにノルウェーの酒場さながらの盛り上がりだった。

実物大まさよしくん人形が登場 !

2023年7月、コロナ禍で続いていた客席制限が解除され、久しぶりの目玉企画として山崎まさよしさんの公演が開催された。担当者たちは「インパクトがあって他の会場にはないお迎えを ! 」と熱く議論。その結果生まれたのが、なんと山崎さんの実物大人形。造形作家・関口光太郎さんの「新聞紙とガムテープで作る彫像」に刺激を受け、公演リーダーが日夜コツコツと製作した。特徴をとらえた人形は来場者を驚かせ、山崎さん本人にも関口さんにも大好評。今ではリーダー宅に鎮座し、あの日の熱気を静かに伝え続けている。



山崎さんも思わずニヤリ



髙木さんはどんな時もさわやかな笑顔

僕、サウナ好きなんです

2023年9月、記録的な猛暑が続いたこの夏、ピアニストの髙木竜馬さんによる漫画「ピアノの森」を題材にした演奏会が行われた。ところが当日、ホールの空調がまさかの故障 ! 満席の客席も舞台上も、まるでサウナのような熱気に包まれた。それでも髙木さんは、曲ごとに舞台袖で冷水を飲み、扇風機で涼をとりながら最後まで素晴らしい演奏を届けてくれた。終演後にお詫びを申し上げると、「僕、サウナ好きなんです」と優しい笑顔。舞台裏は温かい空気に包まれ、一同ホロリ。ますます応援したくなるひとときだった。